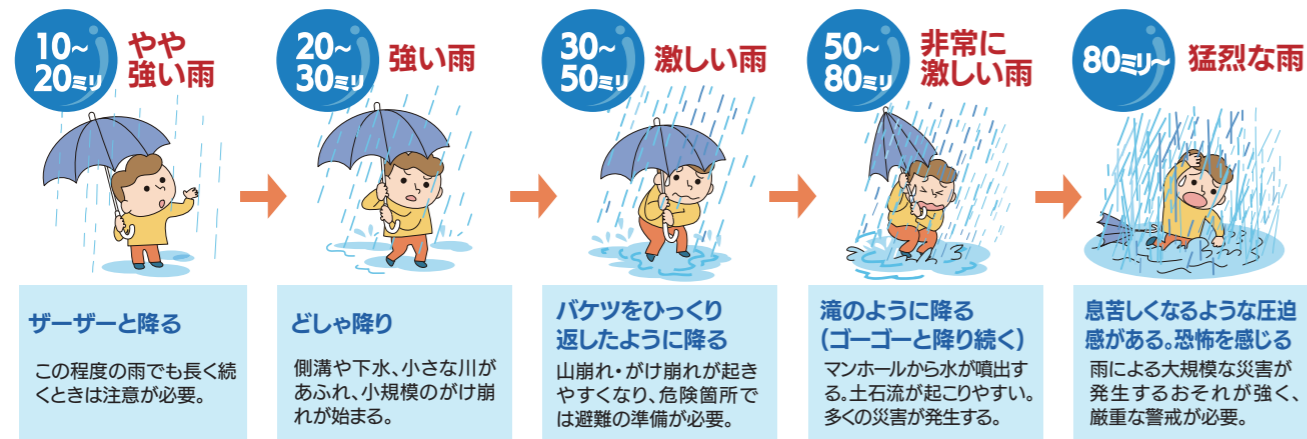


# 風水害

## 雨の降り方と災害について

雨の降り方から被害の予想ができます。雨の降り方に注意し、警報や避難情報が出る前でも、危険と判断すれば、避難などの準備をしたり自主的に避難することも大切です。〔雨量は1時間雨量(ミリ)〕



## 風の強さと吹き方

風速の単位m/sは、1秒間に進む距離(m)



## 洪水に関する避難情報の発令について

市では、市域を流れる河川について、水位が著しく上昇し、洪水発生危険性が高まると、避難が必要な浸水の想定区域を含む下記の地域を対象に避難情報を発令いたします。

### 大和川

危険度に応じ、下記のとおり市域の発令対象区域を2つのブロックに分けて段階的に避難情報を発令いたします。

対象地域	ブロック①	ブロック②
	高井田、青谷、国分本町1~4丁目、国分市場、田辺1丁目、国分西、片山町、玉手町、円明町、石川町	本郷、大正、古町、今町、上市、清州、堂島町、河原町、法善寺、平野1丁目、大泉、太平寺、安堂町

※水位はいずれも柏原水位観測所での数値

### 石川 (エリア:右岸)

対象地域  
片山町  
玉手町  
円明町  
石川町

## 洪水予報の基準水位

※大和川や石川の水位が増え、洪水のおそれがあるとき、水位の状況により気象庁が国や大阪府と共同で水防活動や皆様方の避難行動の参考となるように洪水の予報を行っています。

堤防	はん濘の発生		はん濘発生情報	はん濘危険水位	はん濘危険情報	はん濘警戒水位	はん濘警戒情報	はん濘注意水位	はん濘注意情報	はん濘待機水位(発表なし)	レベル	大和川 (柏原水位観測所)	石川 (玉手水位観測所)
	はん濘が起きる可能性がある水位	はん濘発生水位											
はん濘の発生	はん濘警戒水位	はん濘危険水位	はん濘発生情報	はん濘危険水位に到達したとき はん濘危険水位を超えた状態が続いているとき	4(危険)	はん濘警戒水位	はん濘警戒情報	はん濘注意水位	はん濘注意情報	はん濘待機水位(発表なし)	5	5.10m	4.80m
避難の目安になる水位	はん濘警戒水位	はん濘危険水位	はん濘警戒情報	はん濘警戒水位に到達しさらに上昇が見込まれるとき はん濘危険水位に到達すると見込まれるとき	3(警戒)	はん濘注意水位	はん濘注意情報	はん濘待機水位(発表なし)	はん濘待機水位(発表なし)	はん濘待機水位(発表なし)	2(注意)	4.50m	4.60m
水防団が出動する目安になる水位	はん濘警戒水位	はん濘危険水位	はん濘警戒情報	はん濘警戒水位に到達しさらに上昇が見込まれるとき はん濘危険水位に到達すると見込まれるとき	2(注意)	はん濘注意水位	はん濘注意情報	はん濘待機水位(発表なし)	はん濘待機水位(発表なし)	はん濘待機水位(発表なし)	1	3.20m	3.90m
水防団が準備する目安になる水位	はん濘警戒水位	はん濘危険水位	はん濘警戒情報	はん濘警戒水位に到達しさらに上昇が見込まれるとき はん濘危険水位に到達すると見込まれるとき	1	はん濘注意水位	はん濘注意情報	はん濘待機水位(発表なし)	はん濘待機水位(発表なし)	はん濘待機水位(発表なし)	1	1.50m	2.70m

ふだんの水位

## 気象情報の種類と発表基準

注意報	災害が起こるおそれのあるときに注意を呼びかけて行う予報
警報	重大な災害が起こるおそれのあるときに警戒を呼びかけて行う予報
特別警報	警報発表基準をはるかに超える大雨等が予想され、重大な災害の起こるおそれが著しく高まっている場合

特別警報が発表されたら  
「ただちに、命を守るための行動をとる」

## 氾濫の種類

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「洪水」と、街中の排水が間に合わず、排水路などからあふれ出す「内水」の2タイプがあります。

### 洪水

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える、あるいは堤防が決壊して川の水が外にあふれておきる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増しますので、最大の注意が必要。

### 内水

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはげきせずに溜まっておきる水害。川の水位が何mに達すれば警報を出すなどの対応が難しいため、注意が必要。

## 自動車による避難のリスク

自動車が冠水した道路を走行する場合、水深が車両の床面を超えると、エンジン、電気装置等に不具合が発生するおそれがあります。また、水深がドアの高さの半分を超えると、ドアを内側からほぼ開けられなくなります。

- 水深が床面を超えると、電気装置が損傷し、自動スライドドアやパワーウィンドウが動作しなくなるおそれ
- 吸気口から浸水するとエンジンが停止し、再始動しなくなるおそれ(速度が大きいと浸水しやすくなる)
- 水流がある場合、車両が流されるおそれ
- タイヤが完全に水没すると、車体が浮いて移動が困難になるおそれ
- 水深がドアの下端にかかると、車外の水圧により内側からドアを開けることが困難となり、ドアの高さの半分を超えると、内側からほぼ開けられなくなるおそれ ※ ※内外の水圧差がなくなるまで浸水すると、内側からドアが開くようになります。
- 脱出用ハンマーで割れる(合わせガラスは割れない)
- マフラーから浸水するとエンジンが停止し、再始動しなくなるおそれ

## 大雨の際の危険箇所

### 地下道(アンダーパス)・低い土地

鉄道の下など路面が低くなっているところは、水がたまる恐れがあるので、車で入らないようにしましょう。浸水・冠水の危険を感じたら、速やかに車を高台に移動させましょう。



- ①JR大和路線下(今町1丁目4)
- ②近鉄大阪線下(国分本町1丁目1)
- ③近鉄大阪線下(国分本町1丁目2)
- ④近鉄大阪線下(国分本町1丁目3)
- ⑤近鉄大阪線下(旭ヶ丘4丁目)

## 浸水時の水平避難と垂直避難

風水害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければいけません。

そのような場合は、避難所への移動(水平避難)だけでなく、近隣ビルの高層階や自宅の2階といった高い場所への移動(垂直避難)を行い救助を待つという判断も必要です。

